



国際ロータリー 第2570地区 新座ロータリークラブ会報 2025～2026年度

第1914号

NIIZA Rotary weekly

令和8年6月11日 発行

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツォ ～良いことのために手を取り合おう～

第2570地区ガバナー 相原 茂吉 『クラブ強化と活性化のために行動してください』

会長方針 森 克巳 『楽しく奉仕！ 未来に繋ぐロータリーの輪』



会長 森 克巳 副会長 鈴木 明子 幹事 松岡 昌宏

第2306回例会 5月第4週 5月26日(火)

講演会 『第15回 薬物乱用のない社会をつくるために！』

講師:NPO法人 埼玉ダルク 代表 辻本 俊之氏

於:新座市立第二中学校



開催の挨拶

新座ロータリークラブ 会長 森 克巳



新座市立第二中学校の皆さんこんにちは。新座ロータリークラブ会長の森 克巳と申します。

本日はお忙しい中、私ども新座ロータリークラブ、新座こぶしロータリークラブが推進しております薬物乱用防止講演会「第15回 薬物乱用のない社会をつくるために！」にご参加いただき誠にありがとうございます。

また、本講演会の開催にあたりご後援を賜りました新座警察署並びに新座市教育委員会の皆様、そして、新座市立第二中学校校長 小関 直先生を

講演「第15回 薬物乱用のない社会をつくるために！」

日 時 2026年5月26日(火) 14時40分～15時30分
 場 所 新座市立第二中学校体育館 全生徒1,016名
 〒352-0011 新座市野火止7丁目17番地10号 【TEL】048(477)1212
 議 題 「薬物乱用のない社会をつくるために！」
 講 師 NPO法人 埼玉ダルク 代表 辻本 俊之氏
 主 催 新座ロータリークラブ・新座こぶしロータリークラブ・新座市立第二中学校
 後 援 新座市・新座警察署・新座市教育委員会

タイムスケジュール

(敬称略)

司会進行	新座市立第二中学校主幹教諭	ささき じゅんいち 佐々木純一
14:40 開会の挨拶	新座市立第二中学校教頭	やまなか 山中あずさ
開催の挨拶	新座ロータリークラブ会長	もり かつみ 森 克巳
登壇者紹介	新座市立第二中学校主幹教諭	ささき じゅんいち 佐々木純一
講師紹介	新座こぶしロータリークラブ会長	やまだ いちろう 山田 一郎
講演 演題	「第15回 薬物乱用のない社会をつくるために！」	つじもと としゆき 辻本 俊之
講師	NPO法人埼玉ダルク 代表	
お礼の言葉	新座市立第二中学校生徒会長	わかすぎ ほのか 若杉 歩果
15:30 閉会の挨拶	新座市立第二中学校教頭	さわやま たかし 澤山 敬



辻本氏は、皆さんに「お願いしたいこと」が有ります。それは「相談をする」という事です。薬物に誘われたり、困っているときは先生や家族、警察など信頼できる大人に相談して下さい。埼玉県警察少年サポートセンター等、相談窓口も色々あります。皆さんはこれから社会を担っていく大切な存在です。心も体も健康に成長してほしいと願っているので体験談を話しました。そして「もし薬物に手を出したら、行き着くところは精神病院、刑務所、死・・・です」この言葉をどうか忘れないでください。



新座こぶしロータリークラブ並びに
新座ロータリークラブの会員の皆様

はじめとする教職員の皆様に、多大なるご理解とご協力を賜りました事心より御礼申し上げます。さて、私たちロータリークラブは「世の中のために、よいことをしよう」を合言葉に、さまざまな奉仕活動を行っている団体です。

その活動の柱の一つが、青少年育成事業であり、本日の薬物乱用防止講演会もその大切な取り組みの一つです。この講演会は、新座市内の中学校を毎年一校ずつ訪問し、今年で14年目を迎えることができました。なお、今年度からは、より多くの生徒の皆さんにお伝えできるよう、年に二校ずつ実施しております。皆さんもテレビやニュースで目にしていると思いますが、現在、違法薬物の問題は決して他人事ではありません。また、医薬品の過剰摂取いわゆるオーバードーズも深刻な社会問題となっています。今の社会には、気づかないうちに薬物へと引き込まれてしまう多くの「落とし穴」が存在しています。

本日の講演をしっかりと聴いて頂き、興味本位や軽はずみな気持ちで薬物に手を出すことが、どれほど危険で取り返しのつかない結果を招くのかをぜひ心に刻んでください。そして皆さんには自分自身を大切に、夢と希望に満ちた輝かしい未来を歩んでいってほしいと心から願っております。本日はどうぞ、よろしく願いいたします。

約1時間自分の一生を左右する、重要な時間としてお聞きください。宜しくお願い致します。

お礼の言葉 生徒会長 若杉 歩果



本日は、私たちのために貴重なお話を頂き、本当にありがとうございました。これまで、薬物乱用という言葉はニュースなどで耳にすることはありましたが、自分ごとのように感じることはできていませんでした。しかし、今日のお話を伺って薬物は一度でも手を出してしまうと、やめたいという意志があっても、やめられなくなってしまう自分の心や体を壊してしまう本当に恐ろしいものだわかりました。私たちはこれから大人に近づくにつれて、きっとたくさんの出会いを経験します。大変なことがたくさん待っているかもしれない。その中で、もし悩みや誘惑があったとしても、今日学んだ「最初の1回に手を出さない」ということを忘れず、自分自身の未来と周りの大切な人を守る強い人になりたいと思います。本日は、このような講演会を開いていただき、本当にありがとうございました。

講師紹介

新座こぶしロータリークラブ 会長 山田 一郎



本日は新座第二中学校の1年から3年生までの全員の方に聞いて頂きたい重要なお話です。覚せい剤・大麻・ドラッグ等の薬物乱用の無い社会をつくる為に、日夜日本中の青少年に警鐘を鳴らし薬物中毒の恐ろしさを伝えて22年間、NPO法人埼玉ダルク代表の辻本俊之様をご紹介します。辻本俊之様本人の、覚せい剤薬物中毒の実体験をもとに、薬物中毒依存症の苦しさや怖さ等、若い皆様に同じ事をさせたく無いと言う思いで講演をして頂きます。本日の講演を聞き自分は絶対やらないと、心に誓う、自覚する場にして頂きます。

生徒さんの感想

1年生

- ・体験をした人の話を聞いて、薬物乱用をしてしまう人は、気軽に話すことができる友達がいなかったり、自分の生活に心から楽しいと思えないことなどが、薬物を使用してしまうトリガーになってしまうと考えました。一度薬物乱用をしてしまったら、自分の手で辞めたいとどれだけ思っても辞めることが絶対にできなくなってしまうことなので、そのようなことが起きる前に、しっかりと自分で楽しいと思えるように生活リズムを正して行動したり、友達と良く喋ったりして楽しく充実した生活にできるように頑張りたいです。
- ・今まで小学校の時も薬物乱用防止教室があるたびに、教えてもらった知識や怖さで自分は絶対に

やりたくないと言っていたけれど、今日実際に薬物依存症を経験して人生が辛くて台無しになってしまった人の話を生で聞き、実際に本当に聞こえてきた幻聴や幻覚、手を洗うのをやめられないなど、改めて薬物は本当に怖いと思いました。それに、時代の流れやブームで変な薬物が流行っていて、どんなに仲の良い親友に誘われても始めてしまったら最後なので、私は絶対にその誘いには乗らないし、それは友達じゃないと思って、見通しを持って生きていきたいです。

2年生

・今回の薬物乱用防止教室を聞くまで、私は「薬物はニュースの中の話で、自分には関係のない他人ごと」だと捉えていました。学校の授業で知識としては知っていても、実際にその症状を患ったときにどんな気持ちになるのかまでは想像できていなかったからです。しかし、実際に薬物依存症を経験された講師の方の実体験を聞き、その認識は一変しました。特に私の心に強く残ったのは、薬物の持つ圧倒的な「依存性の高さ」と「後遺症の怖さ」です。「一度やめても数年経つとまたやりたくなってしまう」「やめたいのにやめられず、最後は泣きながら使っていた」「幻覚や幻聴から逃れられず、精神病院のベッドから動けなくなった」といった生々しい末路に、強い衝撃を受け、鳥肌が立つような恐怖を感じました。かつてのキャッチフレーズである「人間をやめるか、薬物をやめるか」という言葉の本当の意味を理解し、一度の好奇心や軽い気持ちで人生を完全に台無しにしてしまうという現実を、「自分ごと」として深く心に刻む機会となりました。

・講演を通して私が最も驚いた事の一つは、薬物乱用が想像以上に自分たちの身近に潜んでいるという事実でした。「中学生には関係ない」と思っていた大麻や違法薬物が、実は知人や親しい友達などの身近なきっかけから広がっていることを知り、油断は禁物だと強く実感しました。さらに、違法なものだけでなく、普段飲んでいる風邪薬や痛み止めの量を間違えること（オーバードーズ）や、未成年の飲酒も「薬物乱用」のスタート地点になり得るといふ指摘にハッとさせられました。

3年生

・今回の薬物乱用防止教室を聞いて、これまで自分とは無縁の遠い世界のことだと思っていた薬物が、実はとても身近にあるものだと知って恐怖を感じました。特に、実際に依存症を経験された講師の方のお話は、教科書や動画で見ると比べて説得力があり、リアルな幻覚や幻聴の具体的な症状には本当にゾッとしました。違法なドラッグだけでなく、私たちが普段使っている風邪薬や痛み止め、将来飲む機会があるお酒なども、使い方

やルールを間違えれば「薬物乱用（オーバードーズ）」になってしまうということにとっても驚きました。一番心に残っているのは、「人間をやめますか、それとも薬物をやめますか」という言葉です。「一回だけなら大丈夫」「ちょっとくらい」という甘い考えや好奇心で最初の一步を踏み出してしまうと、自分の意志では絶対に抜け出せない無限ループにはまり、一瞬で人生が台無しになってしまいます。これから高校や大学に進み、新しい出会いがたくさんあると思いますが、たとえ仲の良い友達や先輩、親以外の誰に勧められたとしても、自分の未来と命を守るために「ダメなものはダメ」ときっぱり断り、すぐにその場から逃げる強い意志を持って生きていこうと思いました。

・薬物乱用を防ぐためには、ただ怪しい情報に気を付けるだけでなく、日頃から規則正しい生活を送り、心から信頼できる人間関係を築くことが一番の近道なのだと感じました。自分の周りの環境も大切にしながら、後悔のない人生を歩んでいきたいです。

謝辞 第二中学校 教頭 山中 あずさ

本日は、本校生徒のために「薬物乱用防止講演会」の講師として、NPO法人埼玉ダルク代表辻本 俊之様に大変貴重なご講演をいただき、誠にありがとうございました。

埼玉ダルクでの日頃のご活動を踏まえた、辻本先生の実体験に基づくリアルで切実な言葉の数々は、生徒たちの心に強く深く突き刺さっているようでした。「薬物は一度の好奇心で人生を破滅させる」「自分だけでなく、身近な大切な人まで深く傷つける」という厳しい現実、生徒たちも息をのむようにして、真剣な表情で聞き入っていました。現代社会は、SNSの普及などにより、中学生であっても思いがけない場所で薬物の誘惑に直面する危険をはらんでいます。しかし、本日先生から学んだ「きっぱりと断る勇気」と「自分の命を何よりも大切に作る心」があれば、生徒たちは今後の人生において、いかなる誘惑にも負けず、正しい選択をしていけるはずで、私たち教職員も、生徒が一人で悩みを抱え込むことなく、安心して健やかに成長できる学校環境づくりに、地域や家庭と連携しながら全力で努めてまいります。結びに、新座ロータリークラブ並びに新座こぶしロータリークラブの皆様の多大なるご尽力により、このような素晴らしい学びの機会をいただきましたことに、学校を代表して心より厚く御礼申し上げます。